

科学小委員会の今後の検討課題について（案）

令和 3 年 3 月 日
日本ユネスコ国内委員会科学小委員会

1. 科学小委員会の所掌

「自然科学並びに人文科学及び社会科学並びにこれらに係る普及活動に関する事項を調査審議すること」（日本ユネスコ国内委員会専門小委員会組織規程（昭和二十七年文部省令第二十四号））

2. 活動の目標

科学小委員会は、科学の発展及びその知識の共有が、ユネスコ憲章が宣言する国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するという前提に立ち、科学分野に係る国内外のユネスコ活動を通じた科学的な能力構築の推進、及び多様なステークホルダーを巻き込んだ様々なアプローチでの科学的知見の結びつきの強化を目標として審議を行う。

※ユネスコ憲章の前文には、「この憲章の当事国は、すべての人に教育の充分で平等な機会が与えられ、客観的真理が拘束を受けずに探究され、且つ、思想と知識が自由に交換されるべきことを信じて、その国民の間における伝達の方法を発展させ及び増加させること並びに相互に理解し及び相互の生活を一層真実に一層完全に知るためにこの伝達の方法を用いることに一致及び決意している。」と記載されている。

また、ユネスコが自然科学分野で貢献する SDGs として掲げられている以下の事項に留意し、SDGs 達成に貢献するための方策等について審議を行う。

（自然科学分野）

- －科学的及び技術的キャパシティの強化による途上国支援
- －ローカルかつ先住民族の知識システムを含む最も利用可能な知識に基づいた、加盟国が効果的な方針を設計するための援助
- －ユネスコ科学レポート（SDG9）、グローバル海洋科学レポート（SDG14）、国連世界水発展報告書（SDG6）を通じた世界的な進捗分析
- －このほか災害・気候リスク管理等を通じた気候変動（SDG15）、政府間水文学計画（IHP）等を通じた水科学（SDG6）、人間と生物圏（MAB）計画等を通じた生物多様性（SDG13）

（海洋科学分野）

- －海洋技術に関する能力開発やモニタリングを通じた海洋資源の持続的な保護と利用（SDG14）

（人文科学及び社会科学分野）

- －研究方針の結びつきの強化、差別の言及と価値及び権利の醸成、科学的開発によってもたらされる社会の課題のための倫理基準や標準の推進等を通じた持続可能な

開発のための平和でインクルーシブ社会の推進等 (SDG16)、国家間の不平等の是正 (SDG10)、インクルーシブで安全、強靱、持続的な居住とまちづくり (SDG11) に関する能力開発、教育 (SDG4)、福祉 (SDG3)、気候変動 (SDG13)

(分野横断的取組)

－気候変動 (SDG13)、持続可能な都市 (SDG11)、食の安全 (SDG2)、学習機会 (SDG4)、ジェンダー平等 (SDG5)、持続可能な経済発展 (SDG 8)、健康 (SDG 3)

3. 科学小委員会で取り扱う議事

○ユネスコ科学事業について

- ・ユネスコ総会やユネスコ執行委員会に際する科学分野に係る対処方針案の議論
- ・ユネスコの科学事業に関する動きの共有及びその課題や対応策の検討

○ユネスコ登録事業の登録後の活用・普及について

- ・ユネスコ登録事業（科学事業に係るもの）を活用した優良事例の共有
- ・ユネスコ未来共創プラットフォーム事業と連携した、ポータルサイトや地域ネットワークの活用方法についての検討

○科学分野における民間等のユネスコ活動について

- ・民間団体等の科学分野に係る取組を共有し、建議で求めている好事例の共有、好循環を生み出していく仕組みや活動展開についての検討
- ・ユネスコにおける優先分野（ユース、ジェンダー平等など）を意識した活動展開についての検討
- ・周年事業等（ユネスコ加盟 70 周年、持続可能な開発のための国連海洋科学の 10 年（2021-2030）、人間と生物圏（MAB）計画 50 周年等）を契機とした取組の推進についての検討

○科学事業間及び科学分野と教育・文化分野等との連携について

- ・ユネスコにおける科学事業間及び科学分野と教育・文化分野等の連携の在り方についての検討

○科学事業の成果や知識の普及について

- ・ユネスコの科学事業及び我が国における官民の科学分野に係るユネスコ活動の成果・知識の普及についての検討

※特に御意見をいただきたい具体的な視点

- 令和 3 年（2021 年）が、ユネスコ加盟 70 周年、持続可能な開発のための国連海洋科学の 10 年（2021-2030）の開始年、人間と生物圏（MAB）計画 50 周年であることに鑑み、

海洋リテラシーや生物多様性への意識向上、科学への更なる市民の巻き込みについて、具体的にどのような取組が考えられるか。

- 第41回ユネスコ総会（2021年11月）において科学に関する勧告が採択されることを踏まえ、勧告についてより関心を高め、普及啓発を行うにはどういったことが考えられるか。
- 考えられうる例：広報（SNS等含む）の充実、若い世代（ユース等）の更なる参画、各地域・全国的・世界的なイベントの活用、他分野の事業における幅広いステークホルダーへの呼びかけなど

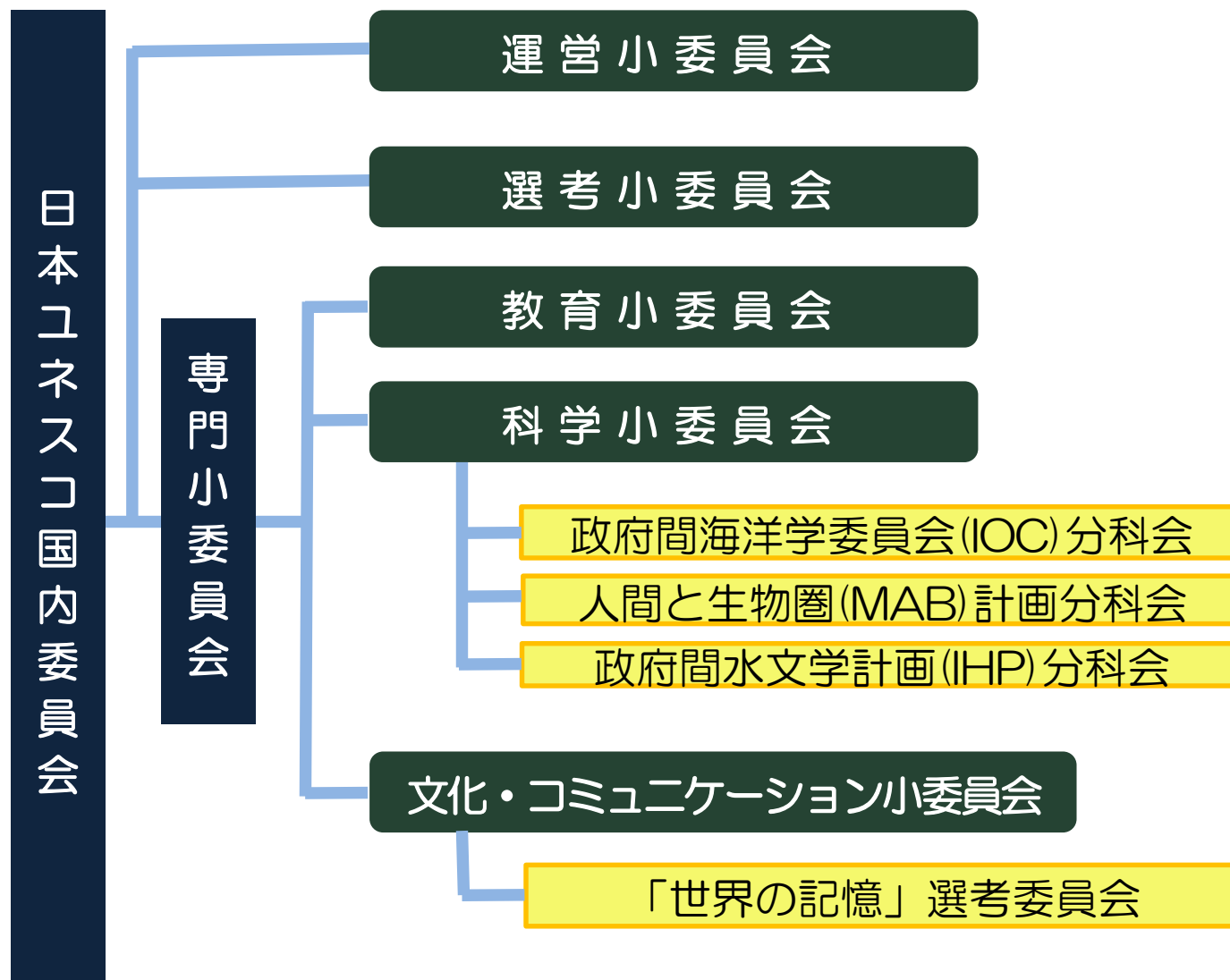
（参考）ユネスコ活動の活性化について（建議）における科学関係の記載

- ・ 2021年から始まる「国連海洋科学の10年」に向けて、持続可能な海洋の保護と利活用における科学の重要性について普及を図ること。また、ESDとの相乗効果が得られるような教育関係者との協力も含め、SDGsの達成に幅広く貢献するよう分野を越えた連携を図ること。
- ・ ユネスコが登録・認定を行う（略）、生物圏保存地域（エコパーク）、世界ジオパーク、（略）創については、多様な文化が地域創生の資源となるよう、持続可能な地域づくりという観点から教育や観光に積極的に活用することを後押しし、好事例の展開を図ること。
- ・ 世代や地域を超えて多様なステークホルダーが連携し、ユネスコ活動の未来を共創するプラットフォームの構築を図ること。

（以上）

日本ユネスコ国内委員会の概要

- ✓ 「ユネスコ活動に関する法律」(昭和27年法律第207号)に基づき、文部科学省に設置されている特別の機関です。
- ✓ 教育・科学・文化の各分野を代表する者等60名以内の委員(衆議院議員、参議院議員、政府職員を除き任期3年、文部科学大臣が任命)で構成されています。



【主な活動】

- ◆ 我が国のユネスコ活動に関する助言、企画、連絡及び調査
- ◆ 関係各大臣の諮問に依じて行う、政府代表の選考、議事に関する事項、条約等の締結に関する事項等の調査審議
- ◆ 我が国におけるユネスコ活動の基本方針の策定
- ◆ 国内のユネスコ活動関係機関及び団体等との情報交換
- ◆ ユネスコ活動に関する調査並びに資料の収集及び作成
- ◆ ユネスコ活動に関する普及のために必要な事項の実施

2021年のユネスコ科学分野の動き（青字は国際・地域レベル）

※コロナウイルス感染拡大の影響によって変更の可能性あり

	ユネスコ加盟70周年		政府間海洋学委員会（IOC） ／持続可能な開発のための国連海洋科学の10年 （2021-2030）	人間と生物圏（MAB）計画 ／人間と生物圏（MAB）計画50周年	政府間水文学計画（IHP）	ユネスコ世界ジオパーク	勧告案件（AIの倫理、オープンサイエンス）	その他	
2月	リレートーク		第53回政府間海洋学委員会（IOC）執行理事会 @オンライン	MAB計画50周年オンラインイベント	IHP第3回臨時会合@オンライン	第41回日本ジオパーク委員会（第三部）@東京 ／オンライン			
	プラットフォーム全国大会		国連海洋科学の10年日本国内委員会発足						
3月			国連海洋科学の10年スタート公開シンポジウム （笹川平和財団・日本海洋政策学会）@東京		IHP第9期計画（2022- 2029）検討				
4月		文科省2F 展示					AIの倫理に関する勧告第1回政府間特別会合		
5月	リレートーク		日本ユネスコ国内委員会科学小委員会第72回 IOC分科会@オンライン【P】			第42回日本ジオパーク委員会@東京／オンライ ン	オープンサイエンスに関する勧告専門家政府間 会合@フランス・パリ	ESD世界会議@ドイツ・ベルリン	
6月	リレートーク		第1回国際海洋科学の10年会議ハイレベルパ ーシャル会合@オンライン	第16回東アジア生物圏保存地域ネットワーク （EABRN）会合@モンゴル					
			第54回IOC執行理事会@フランス・パリ／オン ライン	第33回MAB計画国際調整理事会@ナイジェリ ア・アブジャ	第24回IHP政府間理事会@オンライン		AIの倫理に関する勧告第2回政府間特別会合		
7月	ユース国内委員会事前打ち合わせ（2～3 回）	1971年7 月2日加	国連海洋会議@ポルトガル・リスボン（2021年 後半のどこか）	日本ユネスコエコパークネットワーク大会@石 川県白山市					
	第76回日本ユネスコ運動全国大会？（日 ユ協）			第13回東南アジア生物圏保存地域ネットワー ク（SeaBRnet）会合・アジア太平洋生物圏保存地 域ネットワーク（APBRN）会合@インドネシ ア・ロンボク		ユネスコ世界ジ オパーク新規申 請地域・再認定 審査地域：国際			
8月	ユース国内委員会 リレートーク		国連海洋科学の10年アジア太平洋地域キック オフ会合@オンライン						
9月	国内委員会小委員会 リレートーク			IUCN世界自然保護会議@フランス・マルセイユ		ユネスコ世界ジオパーク国際会議／第6回ユネ スコ世界ジオパークカウンシル@韓国・済州島 第43回日本ジオパーク委員会@東京／オンライ ン			
10月	国内委員会総会 リレートーク	文科省2F ／情報ひろ ば展示		第15回生物多様性条約締約国会議（COP15）@ 中国・昆明		第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道 湖中海大会@島根県松江市			
11月	ユネスコ総会（ユース代表発表） ユネスコスクール地方大会（3か所） リレートーク			気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26） @英国・グラスゴー	第41回ユネスコ総会：IHP第9期計画策定	隠岐ユネスコ世界ジオパーク「国連海洋科学の 10年」国際会議（海洋プラスチックゴミ）@ 島根県隠岐の島町	第41回ユネスコ総会：「AIの倫理に関する勧 告」及び「オープンサイエンスに関する勧告」 策定		
12月	プラットフォーム全国大会 第13回ユネスコスクール全国大会・ESD 研究大会					第44回日本ジオパーク委員会@東京／オンライ ン			
備考	ユネスコ：設立75周年 ユネスコ・アジア文化センター：創立50周年 国連生態系回復の10年（2021-2030）：国連環境計画（UNEP）と国連食糧農業機関（FAO）主導。世界農業遺産（GIAHS）では関連イベントを開催。（GIAHSはBRやジオパークとの重複地域あり）								